

世界史 民族移動・移民史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前 _____

記事「世界史 民族移動・移民史まとめ | ゲルマン人から近代の移民まで」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

- 1 前2000年ころ小アジア（アナトリア）に入り、鉄器と馬を使って強国を築いたインド＝ヨーロッパ語系の人々を何というか。

- 2 ギリシア人が南フランスに建てた植民市で、現在のマルセイユにあたる都市は何か。

- 3 フェニキア人の使った22の子音字からなる文字は、ギリシア人に受けつがれて何のもとになったか。

- 4 493年にイタリアに東ゴート王国を建てた人物は誰か。

- 5 481年に即位し、カトリックに改宗してローマ教会とローマ系住民の支持を得たフランク王は誰か。

- 6 西晋で皇族の王たちが政権を争い、各王が匈奴や鮮卑などを兵として引き入れた内乱は何か。

- 7 アラブ人の征服地で暮らすようになった、改宗した非アラブ人を何と呼ぶか。

- 8 ウイグルの西への移動をきっかけにトルコ化が進んだ中央アジアの地域は、のちに何と呼ばれるようになったか。

- 9 1130年に南イタリアとシチリア島に両シチリア王国を建てたノルマン人は誰か。

- 10 1882年にアメリカで作られた、中国人の移民を禁じた法律は何か。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 ゲルマン人の大移動について。

- ア 375年、フン人が東ゴート人を征服し、西ゴート人を圧迫した。
- イ 西ゴート人は376年にドナウ川を渡ってローマ領内に移った。
- ウ 476年、フン人のアッティラが西ローマ帝国を滅ぼした。
- エ 大移動の前から、ローマ軍にはゲルマン人の傭兵が多く加わっていた。

12 ゲルマン人の部族と建国した地域の組み合わせについて。

- ア 西ゴート人 — イベリア半島
- イ ヴァンダル人 — 北イタリア
- ウ アングロ=サクソン人 — ブリテン島
- エ フランク人 — ガリア北部

13 ノルマン人・マジャール人の移動について。

- ア 911年、首長ロロが西フランク王から領地を与えられ、ノルマンディー公国が生まれた。
- イ 1066年、ノルマンディー公ウィリアムがヘースティングズの戦いに勝ってノルマン朝を開いた。
- ウ 955年のレヒフェルトの戦いで、ノルマン人がオットー1世に撃退された。
- エ 1000年、イシュトヴァーン1世がローマ教皇から王冠を受け、ハンガリー王国が成立した。

14 19～20世紀の移民について。

- ア 1845年から49年にかけてのジャガイモ飢饉で、アイルランドからアメリカなどへの移民が急増した。
- イ 19世紀末から20世紀初めには、東ヨーロッパ・南ヨーロッパからの新移民が増えた。
- ウ 1860年の北京条約で中国人の海外渡航が認められ、華僑が大きく増えた。
- エ 1924年のアメリカの移民法は、北西ヨーロッパからの旧移民に最も不利に働いた。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 4～5世紀の中国の出来事を年代順に並べなさい。

- ア 北魏の太武帝が華北を統一した。
- イ 匈奴の劉淵が自立して漢を建てた。
- ウ 司馬睿が建康で晋を再興した（東晋）。
- エ 洛陽が攻め落とされた（永嘉の乱）。

16 ノルマン人が建てた国を、成立の古い順に並べなさい。

- ア ノルマン朝
- イ ノヴゴロド国
- ウ 両シチリア王国
- エ ノルマンディー公国

17 人の移動に関する出来事を年代順に並べなさい。

- ア ピルグリム＝ファーザーズがメイフラワー号で北アメリカに渡った。
- イ ウイグルがキルギスに敗れて崩壊した。
- ウ アイルランドでジャガイモ飢饉が起こった。
- エ ドイツ騎士団がプロイセンを征服して植民を進めた。

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 4～5世紀のヨーロッパと中国で起きた民族の移動について、きっかけと結果を比べながら150字程度で説明しなさい。

19 19世紀に中国やインドから多くの人々が海外へ渡った理由と、その行き先を120字程度で説明しなさい。

世界史 民族移動・移民史 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 ヒッタイト人

インド＝ヨーロッパ語系の人々の移動の一例です。同じ語系のアーリヤ人は、前1500年ころ西北インドのパンジャーブ地方に進入しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

2 マッサリア

ギリシア人は前8世紀ころから約200年の間に、地中海や黒海の沿岸に多くの植民市を建てました。人口の増加による土地や食料の不足などが原因に挙げられます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

3 アルファベット

フェニキア人はシドンやティルスを中心に地中海の交易で活躍し、ティルスの人々は北アフリカにカルタゴを建てたと伝えられます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

4 テオドリック

東ゴート王国は6世紀にビザンツ帝国のユスティニアヌス帝に滅ぼされました。イベリア半島に移ったのは西ゴート人なので、取りちがえないようにします。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ゲルマン人（部族の表）

5 クローヴィス

多くの部族国家が短い期間で滅んだ中で、フランク王国は長く続き、のちの西ヨーロッパ世界の土台となりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ゲルマン人

6 八王の乱

この混乱の中で304年に匈奴の劉淵が自立し、華北は五胡十六国の時代に入りました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／五胡

7 マワーリー

アラブの戦士たちは家族を連れて軍営都市（ミスル）に移り住み、のちにマワーリーも移り住んで、ミスルは政治と経済の中心へ変わりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／アラブ人とトルコ系

8 トルクスタン

トルクスタンは「トルコ人の土地」という意味です。840年にウイグルがキルギスに敗れて崩壊したことが、この変化のきっかけになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／アラブ人とトルコ系

9 ルッジェーロ2世

ノルマン人はノヴゴロド国（862年）、ノルマンディー公国（911年）、ノルマン朝（1066年）なども建てました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ノルマン人（建国の表）

10 中国人移民禁止法

移民が増えると受け入れる側で反発が強まりました。1924年の移民法では、日本人の移民も全面的に禁止されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／20世紀

第2部 正誤問題

11 ウ

西ローマ帝国を滅ぼしたのは、ゲルマン人の傭兵隊長オドアケルです。アッティラのフン人は、451年のカタラウヌムの戦いで退けられていました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ゲルマン人

12 イ

ヴァンダル人が王国を建てたのは北アフリカのカルタゴの地です。北イタリアに568年に入ったのはランゴバルド人です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ゲルマン人（部族の表）、入試で狙われるポイント

13 ウ

レヒフェルトの戦いで撃退されたのはマジャール人です。マジャール人はその後定住し、ハンガリー王国を建てました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ノルマン人・マジャール人

14 エ

1924年の移民法は1890年の国勢調査をもとに移民を割り当てたため、東欧・南欧からの新移民に大きく不利に働きました。日本人の移民は全面的に禁止されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／19世紀・20世紀

第3部 年代の並べ替え

15 イ→エ→ウ→ア

劉淵の自立（304年）→永嘉の乱（311年）→東晋の成立（317年）→北魏の華北統一（439年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／五胡（年表）

16 イ→エ→ア→ウ

ノヴゴロド国（862年）→ノルマンディー公国（911年）→ノルマン朝（1066年）→両シチリア王国（1130年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ノルマン人（建国の表）

17 イ→エ→ア→ウ

ウイグルの崩壊（840年）→ドイツ騎士団のプロイセン征服（13世紀）→ピルグリム＝ファーザーズ（1620年）→ジャガイモ飢饉（1845～49年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）、時代ごとに詳しく見る

第4部 論述問題

- 18 解答例：ヨーロッパでは、傭兵などとしてローマ領内に入っていたゲルマン人が、フン人の西進に押されて大移動を始め、376年に西ゴート人がドナウ川を渡った。476年には西ローマ帝国が滅び、各地にゲルマン人の国家が生まれた。中国では、後漢のころから移り住んでいた五胡が八王の乱に乗じて自立し、西晋が滅んだ。華北の人々が江南へ移り、江南の開発が進んだ。

採点のポイント：①移動の前からの関係（傭兵・内側への移住）、②きっかけ（フン人の西進／八王の乱）、③崩れたもの（西ローマ帝国／西晋）、④生まれたもの（ゲルマン人の国家／五胡十六国と江南の開発）が入っているか。

記事の該当箇所：比べて覚える、論述で使える要点

- 19 解答例：19世紀にイギリスなどで奴隷制が廃止されると、植民地の農園や鉱山で労働力が不足した。そこで中国やインドの人々が契約労働者（苦力）として送られた。華僑は東南アジアのゴム農園やスズ鉱山、南北アメリカの金鉱や鉄道建設で働き、印僑は西インド諸島やマレー半島などイギリスの植民地へ渡った。

採点のポイント：①奴隷制の廃止による労働力の不足、②契約労働者＝苦力、③華僑の行き先と仕事、④印僑の行き先（イギリスの植民地）が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／19世紀